

## 青春～アオハル～

天童高等学校  
1年次通信第16号  
令和4年9月2日

### 「9月の生活について」

早いもので9月に入りました。来週9月8日（木）には、二十四節気という「白露」を迎えます。「白露」とは、夜中に大気が冷え、草花や木にできる朝露のことです。この時期、私たちは日中の暑さも和らぎ始め、だんだんと秋の気配が深まっていくことを感じることができます。7月から8月にかけての猛暑と比較すると随分過ごしやすくなりました。一方で、朝晩の寒暖の差が激しくなるため、体調管理には十分に気を付ける必要があります。

先週の第15号では、今月に予定されている地区新人大会や前期期末考査についてふれましたが、9月は前期を締めくくる最後の大切な月です。9月の学校生活を送るにあたって、次の3点を心に留めてください。

#### 1 日々の授業にさらに力を入れていくこと。

授業開始時のあいさつからしっかりと取り組みましょう。「起立、礼」、この二つの動作に誠意を持つことです。授業の中では、教科担任の先生の話に静かに耳を傾ける、発問に対して自分の考えをしっかりと伝える等、1つ1つのことに「主体的に学習に取り組む姿勢」を持つよう心がけてください。

#### 2 服装、自身の学習用具の管理を日々徹底すること。

8月下旬に身だしなみ検査を実施しました。自身の服装がどのようなものなのか、今後もきちんと見つめ、整える姿勢を大切にしてください。

また、個人の学習用具の管理についても同様です。特に今年度に配付した生徒一人一台個人用端末については、学校に置き忘れることがないように注意してください。日頃から授業や家庭での自学自習に生徒一人一台個人用端末を活用しています。大きな災害等で登校出来ずにオンラインで連絡を取り合う必要が出た際、この端末が重要な学習連絡手段となります。各自、そうした意識をしっかりと持ち、自己管理に努めてください。

#### 3 登下校では、交通事故に遭わぬよう十分に注意すること。

夕方に日が暮れる時間が早くなりました。部活動後、帰宅する頃には辺りは暗くなっているはずですが、自転車の走行では、交通マナーを十分に守り、被害者、加害者両方の立場から事故には決して遭わぬよう気を付けて下さい。

特に、本校西側を登校、下校する際は、歩行者、自転車利用者ともに歩道を通ることを厳守してください。

かつて、江戸時代に日本の農業政策に大きな功績を残した二宮尊徳という人は、「積少為大」という言葉の後世のために残しています。

「小を積み上げて大を為す」という意味ですが、この考え方はとても大切です。学校生活に限らず、世の中というのは何でも小さなことの積み重ねによって出来ています。日々の小さな努力、取り組みの積み重ねがいざという時に大きな力となっていくのです。

納得いく結果を残したいと思うなら、小さな努力、取り組みを大切にしてください。

みなさんの今後の頑張り期待します。

年次主任